

令和8年度

第23回全国児童発達支援施設運営協議会 北海道大会

テーマ

子どもも家族も支援者も、みんなで育むウェルビーイング
— その子らしさを支えるために私たちができること —

趣 旨

近年、発達に特性のある子どもと家族を取り巻く環境は変化しています。国は、子どもの権利を尊重し、一人ひとりが持つ力や良さに目を向けながら、育ちと暮らしの質を高めるため、地域を基盤としたインクルーシブ支援体制の充実や専門性の向上を進めています。

本大会は、子ども、家族、支援者それぞれのウェルビーイングを大切にし、子どもが自分の思いや願いを尊重し、強みを地域の中で活かしていける社会の実現を目的としています。

行政の最新動向や知見を踏まえた講演に加え、現場で積み重ねられてきた実践や工夫を共有します。地域の中で、子ども同士が関わりながらそれぞれの良さを育て合う支援のヒントが詰まった内容です。子どもの未来は、私たちの関わり方で広がります。学びを明日の実践へとともに歩み出しましょう。

主 催

公益財団法人日本知的障害者福祉協会 児童発達支援部会
一般社団法人北海道知的障がい福祉協会

後 援

北海道、札幌市、北海道手をつなぐ育成会、札幌市手をつなぐ育成会(予定)

開催期日

令和8年10月6日(火)・7日(水)

会 場

京王プラザホテル札幌
〒060-0005 北海道札幌市中央区北5条西7丁目2-1 TEL011-271-0111

参加費

会 員 18,500円

会 員 外 22,000円

情報交換会 10,000円

※免税事業者のため、インボイス対応はできません。

参加人数

300名

資 料

今大会の資料は、電子データでの配信です。データは大会1週間前を目途に配信します。
製本資料は別途有料でご用意します。製本資料が必要な場合は、必ず申込時にご注文ください。
製 本 資 料 2,200円(1冊)

申込締切

令和8年8月17日(月) ~~—~~ 9月8日(火)

注意事項

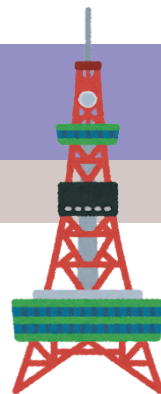
参加費等入金後の参加取り消しは返金を行いませんが、資料データを送付いたします。



日程

1日目 〈10月6日(火)〉

12:00～受付



13:00～13:35

開会式

13:45～14:25

行政説明

講師 鈴木 久也 氏 (こども家庭庁 課長補佐・総括専門官)

14:35～16:05

特別講演

「すべての子どもにひかりがある～支援の本質とは～」

講師 辻井 いつ子 氏 (ピアニスト辻井伸行氏の母)



(プロフィール)

フリーアナウンサーとして活躍後、結婚。

1988年に長男・伸行が生後まもなく全盲とわかり、絶望と不安のなか、育児書や子育てマニュアルが全く役に立たないところから、手探りで子育てをスタートする。

「明るく、楽しく、あきらめない」をモットーに伸行を育てる。つねに子どもの可能性を信じ、よく見て、ほめる「親ばか」の子育てで、生後8カ月で伸行の音楽の才能を見つけ、プロのピアニストへと二人三脚で歩む。その結果、2009年6月、アメリカで開催された第13回ヴァン・クライバーン国際ピアノコンクールで、伸行は日本人初の優勝を果たす。

その後、自身の経験をもとに全国で講演活動を行う。

主な著書に、伸行が演奏する10曲が収録されたCDと、それぞれの曲にまつわるエピソードを書いた本がセットになった『今日の風、なにに色? CDブック』(アスコム)がある。

16:15～17:45

基調講演

「強度行動障害の予防と子ども期の支援のあり方

～発達特性・アタッチメント・家族支援の視点から考える～」

※ギリシャ・英国で開発された支援者のマインドセットに焦点を当てたシナジープログラムの紹介も行います。



講師 内山 登紀夫 氏 (福島学院大学福祉心理学科 教授・JDDネット理事長)

(プロフィール)

三重県に生まれる。順天堂大学医学部卒業、精神科医師。

専門は児童精神科医学、順天堂大学越谷精神医学研究所附属病院、東京都立梅ヶ丘病院、大妻大学、福島大学、福島学院大学、大正大学を経て、現在は「よこはま発達グループ」代表、「福島子どもと親のメンタルヘルス情報・支援センター」「親と子のサポートセンターふくしま」のセンター長を務めている。

1994年米国ノースカロライナ大学TEACCH部に留学、1997年英国ローナウイングセンターに留学。

18:30～20:30

情報交換会



【第1分科会 障害児入所支援】

テーマ「これからの障害児入所施設に期待すること」

9:00~ 9:45 **講演**

「これまでの障害児入所の歩みと未来に向けての期待」

講師 **田中 齋 氏**（一般社団法人全国障害児・者相談支援事業協会 顧問）

9:45~10:05 **報告**

「障害児入所施設の在り方検討会に関する報告」

講師 **岡崎 俊彦 氏**（こども家庭庁 移行支援専門官）

10:15~11:50 **シンポジウム**

発表1 「強度行動障害児への入所施設での取り組み」

須永 貴之 氏（国立障害者リハビリテーションセンター自立支援局 秩父学園 埼玉県）

発表2 「小規模ユニットケアによる家庭的養育の効果」

河内 哲也 氏（社会福祉法人北海道社会福祉事業団 もなみ学園 北海道）

発表3 「移行支援の実践」

川野名 智也 氏（札幌市自閉症児支援センターさぼこ 北海道）

助言者 **田中 齋 氏**（一般社団法人全国障害児・者相談支援事業協会 顧問）

岡崎 俊彦 氏（こども家庭庁 移行支援専門官）

コーディネーター **中野 伊知郎 氏**（社会福祉法人侑愛会 おしま学園 北海道）

11:50 閉会

【第2分科会 障害児通所支援】

テーマ「その子らしく地域で暮らすために」

9:00~ 9:45 **講演**

「その子らしく地域で暮らすために大切な発達支援とは」

講師 **鈴木 久也 氏**（こども家庭庁 課長補佐・総括専門官）

9:55~11:50 **シンポジウム**

発表1 「機関同士連携して地域で支える親子まるごと支援」

津守 和美 氏（社会福祉法人妻の子会 むぎのこ児童発達支援センター 北海道）

発表2 「児童発達支援センターと保育所との連携の未来」

高橋 利江子 氏（社会福祉法人上田明照会 蓮の音こども園 長野県）

発表3 「児童発達支援センターの中核的機能と地域づくり」

高橋 亜紀 氏（社会福祉法人榆の会 きらめきの里 北海道）

助言者 **鈴木 久也 氏**（こども家庭庁 課長補佐・総括専門官）

米川 晃 氏（社会福祉法人柏学園 広島県）

コーディネーター **金澤 俊文 氏**（社会福祉法人麦の子会 北海道）

11:50 閉会

【第3分科会 人材育成】

テーマ **「支援者の良さを活かし育て合う」**

9:00~10:05 講演

「障害児支援における人材育成に関する新たな研修体系」

講師 **大塚 慎之介 氏**（こども家庭庁 障害福祉専門官）

10:05~10:25 発表

「札幌市における児童発達支援センターを中心とした研修の実践」

祖父江 瞬 氏（社会福祉法人札幌協働福祉会たくあいアクティビティ「むう(夢)」 北海道）

10:35~11:50 グループワーク

「我が地域の人材育成」

全国の各地域や事業所での人材育成の取り組みを共有して、今後の人材育成のあり方を考えます。
各グループから全体へ発表し共有します。

助言者 **大塚 慎之介 氏**（こども家庭庁 障害福祉専門官）

北川 聡子 氏（社会福祉法人麦の子会 北海道）

コーディネーター **金沢 京子 氏**（社会福祉法人侑愛会 つくしんぼ学級 北海道）

11:50 閉会

お問い合わせ

**本研修全般に
関すること**

一般社団法人北海道知的障がい福祉協会（担当 藪・志賀）
〒060-0002 北海道札幌市中央区北2条西7丁目 かでる2. 7
TEL:011-271-0228 FAX:011-271-4202

**申し込みに関
すること**

株式会社HBCビジョン HBCトラベル（担当 菅原・田中）
〒060-0003 北海道札幌市中央区北3条西2丁目共栄火災ビル1階
TEL:011-242-3366 FAX:011-222-3899
E-mail:sugawara@hbcv.jp